

令和7年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅰ 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)
事業内容報告書の概要

地方公共団体名【大阪府吹田市】							
令和7年度に実施した取組の内容及び成果と課題							
1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等) ・吹田市教育委員会学校教育部学校教育室 ・日本語指導加配教員及び通訳者 ・日本語指導加配教員巡回校 ・市外教 ・日本語適応教室「さくら広場」ボランティアスタッフ ・吹田市国際交流協会 ・近隣大学							
2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること ・特別の教育課程の確実な実施 ・日本語指導担当教員連絡会の開催 ・日本語指導教室「さくら広場」の実施 ・通訳者派遣 ・AI翻訳機の配備 ・関係機関との連携 ・市外教との情報共有							
3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること (1)日本語指導が必要な児童生徒について、指導や支援の在り方について情報共有を行い、対象児童生徒一人ひとりへの指導や支援の充実を図ることができた。 (2)巡回指導、日本語適応教室「さくら広場」の実施、通訳派遣、AI 翻訳機の配備を行うことで、日本語指導が必要な児童生徒の支援体制を向上させることができた。 (3)日本語指導が必要なすべての児童生徒に対して、特別の教育課程を実施することができた。 (4)吹田市内における日本語指導が必要な児童生徒の実態を共有し、日本語指導や多文化共生の重要性について理解が進んだ。 (7)日本語指導を含めた授業において、日本語指導が必要な児童生徒が安心してコミュニケーションをとることができた。 (10)日本語指導が必要な児童生徒の母語に寄り添った支援を行うことで児童生徒が安心して学べる支援を行うことができた。							
本事業で対応した幼児・児童生徒数	幼稚園等 (人園)	小学校 76人 (21校)	中学校 10人 (8校)	義務教育学校 人 (校)	高等学校 人 (校)	中等教育学校 人 (校)	特別支援学校 人 (校)
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数		76人 (21校)	21人 (10校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
4. その他(今後の取組予定等) ・日本語指導担当教員の指導力の向上 ・ICTを活用したAI翻訳機の拡充 ・巡回校や関係機関との連携							

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。